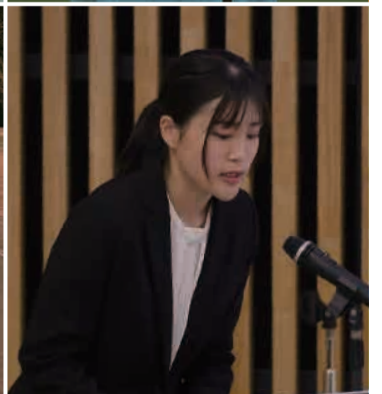
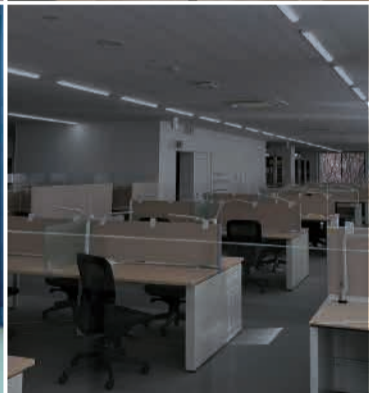


※「ななせ(七星)」とは、北の空に輝く「北斗七星」を意味し、北極星のような不動の真理を求め、さらに広く世人の道しるべとなるようとする本研究科・医学部の理念が象徴されています。



ご挨拶



医学科 白衣式

大学病院は大変か？



東北大学病院長
張替 秀郎

最近、大学病院の経営が大変というニュースが毎日のように見受けられるようになりました。そもそも大学病院が提供している先進的な治療に対して十分な保険点数がついていませんので、やればやるほど赤字ですし、人件費や薬剤費といった経費も軒並み上がっています。とはいっても、大学病院でしかできない治療もありますし、治験や臨床研究という形で将来の先進医療を先んじて経験す

ることができます。もちろん、自分が欲しい医療を自らの研究から作ることもできます。自分の診療エリアで予測できる仕事を毎日過ごす安心感はいずれに価値があるかもしれませんが、大学病院の刺激に満ちた飽きない毎日も間違いなく価値があります。「大変か？」と言われるとやっぱり大変ですが、大学病院には未来があると思っています。

Essay 海外に行こう

10月初めにボストン、終わりにシカゴに行ってきました。ボストンはハーバード大学医学部の創業システムの関係者との意見交換、シカゴはノースウェスタン大学病院との連携協定と臨床研究の打ち合わせです。アメリカの大学からすると東京大学？京都大学？という感じで、むしろ東北大学=国際卓越研究大学=No1大学ということにバリューを感じています。この機会にどんどん海外連携を進めていきたいと思いますが、ここで重要なのは若手の皆さんの海外に打って出ようという気持ちです。ネットと現地、オンラインと対面は、全く意味が違います。行ってみて、話してみ、初めて本当の交流になります。構える必要は全くないので、ま

ずは気楽に海外をトライしてください。



ロブスターロール(ボストン)



シカゴピザ(シカゴ)

学業と社会貢献の両面での活躍

— 多彩な才能の開花



医学部学生後援会会長
黒澤 一

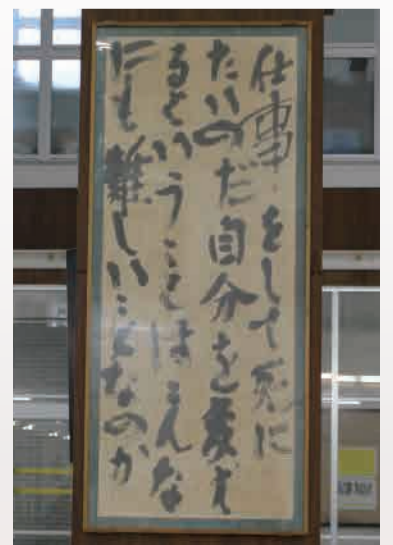
いつも学生後援会の活動にご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。とびきり暑い夏が終わり、あっという間に寒い季節になってしまいました。早すぎるインフルエンザの流行とクマ出没ニュースが話題の今秋から冬にかけ、学生たちは本分である勉学や実習に励むほか、課外活動などで学生生活を大いに楽しんでいるようです。活躍は学内ばかりではありません。自

身が関係したものだけでも、感染症予測のシステムを考案した医学科学生チームや子宮頸がんの啓発をすすめる医学科と保健学科の学生たちのグループがありました。そのあふれる才能や積極的で前向きな活動には、ただただ感心するばかりです。多彩な才能が開花していく様子を見ていくようで、卒業後もさらに飛躍することを期待させ、頼もしく思うこの頃です。

Essay 医師が働いて残すもの

医師の働き方改革の目的の一つは、過労死を防ぐことです。ところが、本学医学部には「仕事をして死にたいのだ(後略)」との書があり、古くから親しまれてきました。もちろん、過労死するくらいまで働きたいという意味ではありません。世の中にとどろくような素晴らしい仕事を残したい、ということではないかと思えます。それに向かって努力したいのに、自分を律するのは難しい、という若者らしさを感じる言葉です。学生たちが集う場所に飾られており、機会があればご覧になってみてはいかがでしょうか。

(写真)
医学部1号館1階の学生ロビーに飾られている





①第26回東北大学医学祭実行委員のメンバー ②⑤⑥第26回東北大学医学祭より ③医学部陸上部 ④医学部サッカー部 ⑦保健学科放射線技術科学専攻ウェアセレモニーより ⑧保健学科卒業研究発表会 検査技術科学専攻より ⑨医学部 白衣式より

新たな時代を切り拓く若い力に期待



医学部副学部長
本間 経康

世界は今、刺激的な変革期にあるのかもしれませんが。私たちは、単に技術を身につけた医療従事者ではなく、「なぜ？」を追求し、未来の医療を創造する探究心を持った研究者を育成しています。学生の皆さんは日々医療の最前線と向き合っています。

例えば、日常生活にも浸透しつつある生成AIが、診断や新薬開発に革命をもたらし始めています。このAIを使いこなし、

病気の真の原因を探り、まだ誰も知らない治療法を生み出す役割が期待されています。本学では、この最新技術の倫理的な側面も含めて深く学ぶ機会が提供されています。

AIに限らず、未来の医療についてご家庭でも対話されると、お子様の成長の一端を感じられるものと思います。学生生活が、知的好奇心あふれる探求の旅となるよう、今後とも全力で支援してまいります。

医学部生諸君のさらなる活躍を願って



医学部副学部長
杉浦 久敏

東北大学は2024年11月に国内で初めて国際卓越研究大学に認定されました。これを受けて、医学部においても東北大学建学以来の理念である「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の精神が試される時期にさしかかっていると思います。一方で、激動する社会情勢の中、医学および医療を取り巻く環境は厳しさを増しており、より一層の成果が求められる時代となっています。医学部としても多

様化、複雑化するニーズに応え、その成果を社会に発信していく必要があります。さて、保護者の皆様におかれましては日頃から医学部学生後援会の活動にご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。我々教員も日々、研鑽し、医学教育を通じて新たな人材の育成に取り組んでまいります。医学部生諸君には次世代の医学、医療を担う活躍を期待いたします。

大学行事・カリキュラム (2026年度前期)

4月	3日	入学式・医学部入学者懇談会	
		看護学専攻ウェアセレモニー (保3年)	
5月	30日	東北大学懇談会 医学部分科会	
7月		オープンキャンパス	
9月		放射線技術科学専攻ウェアセレモニー (保3年) 検査技術科学専攻ウェアセレモニー (保3年)	

※日程および実施有無については変更になる場合があります。

開催決定！ 東北大学懇談会 医学部分科会



今年も「東北大学懇談会」の午後の部として「医学部分科会」を開催いたします。医学部学生後援会会員の皆様におかれましては、この機会にぜひご参加ください。

開催 2026年5月30日(土)
14:30～(予定)

会場 東北大学星陵キャンパス

内容 全体会、キャンパスツアー、教員との懇談など(予定)

詳細は決まり次第、本学ホームページなどにてお知らせいたします。

助成行事のご報告

医学部学生後援会が助成しました

2026年2月までに東北大学医学部学生後援会が助成した行事をご紹介します。

9/25

保健学科検査技術科学専攻ウェアセレモニー

医学部保健学科検査技術科学専攻 主任
医学系研究科 分子内分泌学分野 教授

菅原 明

検査技術科学専攻のウェアセレモニーは、2025年9月25日の15時から星陵オーデトリウムで藤井博司教授の司会・進行で開催されました。石井直人医学部長のご挨拶の後、宮下光令保健学科長、菅原明学生後援会副会長(小生)、菅原新吾臨床検査技師長からそれぞれご挨拶を頂きました。いずれのご挨拶も学生を温かく激励・鼓舞する内容で、皆さんの心に強く伝わったと思います。

続いて、石井医学部長、宮下保健学科長、菅原副会長、菅原技師長、三浦昌人教授、鈴木貴教授、清水律子教授、高木清司准教授、横山敦准教授、平野育生講師、郷野辰幸助教の順でそれぞれ3~4名ずつの学生にウェア授与が行われました。

その後、学生代表である近野稜太さんから力強い決意表明がなされまし

た。最後に、藤井教授の挨拶で閉会になりましたが、学生は皆、これから始まる臨地実習に対する期待で胸をふくらませており、大変素晴らしい門出の会になったと思います。



白衣授与の様子



検査技術科学専攻集合写真



決意表明



医学部保健学科 検査技術科学専攻 3年
近野 稜太

決意表明文



2025

4月

5月

6月

7月

8月

9月

9/25

9/26

10月

9/26

保健学科放射線技術科学専攻ウェアセレモニー

医学部保健学科放射線技術科学専攻 主任
医学系研究科放射線検査学分野・災害放射線医学分野 教授

千田 浩一

2025年9月26日、放射線技術科学専攻のウェアセレモニーを執り行いました。本行事は、臨地実習に臨む学生たちが専門職としての第一歩を踏み出す節目となる大切な式典です。当日は、石井直人医学部長より、医療人として求められる姿勢と学び続けることの重要性について励ましのお言葉をいただきました。続いて、実習施設を代表して、東北大学病院診療放射線技師長の茅野伸吾先生から、臨床現場での責任とチーム医療の一員としての自覚を促す温かい激励を賜りました。また保健学科長の宮下光令先生から学生への励ましと期待が込められたメッセージが寄せられ、さらに学生後援会長の黒澤一先生から未来の医療を担う学生たちへ、力強いエールが送られました。

その後、一人一人の名前が呼ばれ、教員から臨地実習用ネームカードが手渡

されました。これから始まる臨地実習では、患者様や指導者から多くを学び、自らの専門性を深める貴重な機会となります。

最後に、本行事の開催に際し、学生後援会ならびに保護者の皆様からの温かいご支援に心より御礼申し上げます。学生たちが臨地実習を通してさらに成長し、放射線技術者などとして大きく羽ばたくことを期待しています。



ウェアを着用した学生一人一人にネームカードを授与



放射線技術科学専攻集合



ネームカード授与の様子



医学部保健学科 放射線技術科学専攻 3年
西條 剛琉

決意表明文



10/12・13

第26回 東北大学医学祭

東北大学医学祭 実行委員長
医学部医学科 5年

趙 世源

2025年10月12・13日の2日間、東北大学医学部にて第26回医学祭を開催しました。学生主体の企画には多くの方々にご来場いただき、医学の現場を身近に感じていただく機会となりました。

中でも外科医スキル体験は整理券がすぐに配布終了するほどの人気で、ガウンテクニックや糸結び、胸腔鏡体験を通し、中高生からは「医師の仕事が具体的に理解できた」といった声が寄せられました。医療技術の奥行きを実感していただく企画となりました。

一方、がん細胞を顕微鏡で観察できる病理企画では、教授をはじめとする専門教員の解説が加わり、「検診に行こうと思った」という感想もいただきました。健康意識を高める契機としても意義のある内容でした。

また、学生と自由に話せる企画では、進路や疑問を率直に語り合う姿が見られ、親子で医療や将来について考えるきっかけになったとの声もいただきました。

学生だからこそ築ける距離感の中で医学の魅力を共有できたことは、大きな喜びでした。この体験がご家庭での対話に広がり、次の学びへつながっていくことを願っております。



外科医スキル体験の様子



「学生と語ろう」より

医学分館 学生用図書への整備

附属図書館 医学分館長
医学系研究科 分子代謝生理学分野 教授

酒井 寿郎

医学分館では、毎年、医学部学生後援会からのご支援により、学生用の図書を充実させております。今年度も医学・保健学関係の図書84冊のご寄贈を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

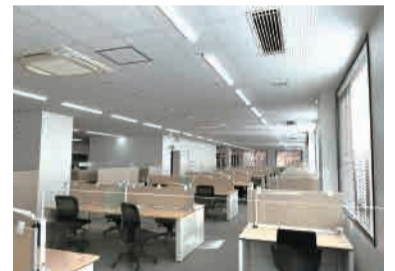
当館の蔵書数は約39万冊で、購入や受贈により例年1,000冊を超える図書を新たに追加しております。また冊子以外にも、いつでも自分のパソコンなどで読むことができる電子書籍も積極的に導入しており、約1万冊が利用できます。大学での充実した学びのために最大限ご活用いただけますと幸いです。

これらの図書は、主に職員が利用傾向等を検討しながら学習・研究に役立つものを選定していますが、学生の皆さんからのリクエストも受け付けておりますので、必要なものがあれば随時マイライブラリからお申し込みください。なお、新着図書を含む当館からのお知らせは、ウェブサイトや公式Xにてご案内しております。

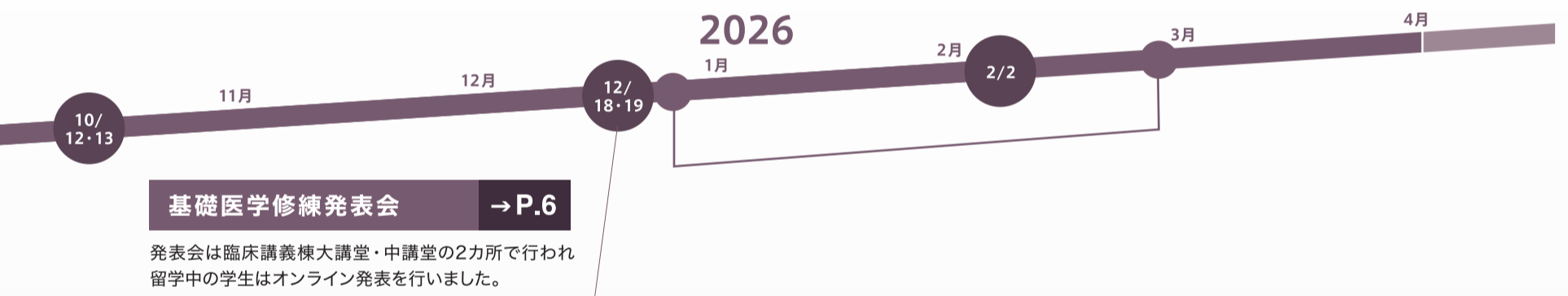
当館では、図書の充実に加えて、館内の快適な環境整備にも取り組んでいます。グループで学習できるラーニングcommonsや、個人で集中できる広い閲覧机も備えています。みなさんのご利用を心よりお待ちしております。



今回ご寄贈いただいた図書



医学分館3階閲覧席

2/2
医学科 白衣式医学科運営委員会 副委員長 (臨床系)
小児病態学分野 教授

菊池 敦生

2026年2月2日、第16回医学部医学科白衣式が星陵オーデトリウム講堂にて開催されました。

白衣式は医学生がCBT試験やOSCE試験に合格し、臨床実習に進むにあたっての大きな節目となる式典です。新5年生たちは保護者の方々が見守る中、出席した教授らから白衣を着せていただき、緊張の面持ちの中にも、晴れやかな表情を浮かべていました。代表の小野丞さんおよび王谷真比呂さんの挨拶では、これまでの感謝とともに、臨床実習での責任を自覚しつつ、主体的に実習に参加して立派な医師に成長したいと、清々しい決意表明がありました。

石井直人医学部長からは、自身の臨床実習で出会った患者さんの思い出とともに、「臨床実習は人間力を高める場としても重要である。自覚を持って、職業としての医師について学んでいた

きたい」とお祝いの言葉がありました。東北大学病院からは張替秀郎病院長、佐々木百合花看護部長、齋政博診療技術部長の各氏から、それぞれ温かい歓迎と激励の祝辞をいただきました。

最後に、白衣式で授与される白衣は毎年医学部学生後援会からご支援をいただき購入しています。この場をお借りして医学部学生後援会ならびに関係の皆様へ深く御礼申し上げます。



白衣を授与する石井 直人 医学部長



新たに白衣に袖を通した医学科新5年生たち



白衣授与の様子



医学部医学科 新5年生 小野 丞



医学部医学科 新5年生 王谷 真比呂

決意表明文



医学部 NEWS & TOPICS

基礎医学修練発表会

開催 2025年12月18・19日 会場 臨床講義棟大講堂・中講堂

医学科運営委員会 副委員長 (基礎系)
医学系研究科 抗体創薬学分野 教授

加藤 幸成

12月18・19日の2日間、医学科3年生全員による基礎医学修練発表会が開催されました。人数が多いため、2つの会場を使って同時並行で実施されました。

司会進行やタイムキーパーなどの運営も学生が主体となって行われ、質疑応答も全演者に対して実施されました。学生とは思えないほど高度で活発な議論が交わされ、非常に充実した発表会でした。医学系研究科内の多様な研究室や留学先での研究成果が発表され、内容は多岐にわたり、全く退屈することのない時間となりました。留学した学生は英語での発表でしたが、とても立派でした。約4カ月間の研究生活は、これまでの座学や集団実習とは大きく異なり、日々試行錯誤を重ねながら考える連続だったと思います。基礎研究は実習書通りには進まず、結果に応じて方針が変わることも多く、指導教官でさえ予測できない事態が起こります。そのような環境の中で、悩みや失敗、達成感などを率直に語る発表も印象的でした。

基礎医学修練発表会が今後の進路や研究への向き合い方を考える一助となり、将来医師となった後も活かされることを期待しています。



①最優秀演題賞を受賞した学生の皆さん ②基礎医学修練発表会実行委員のメンバー ③発表の様子

実行委員会委員長より



医学科3年次
基礎医学修練発表会
実行委員会委員長
宮崎 美帆

今年度も基礎医学修練を履修した学生が発表会に参加し、総勢120件にのぼる研究成果が発表されました。発表内容は多岐にわたり、東北大学が掲げる「研究第一」の精神を体現した知の集う場となりました。約4カ月間という限られた期間の中で研究テーマと向き合い、成功や失敗の末に結論へどり着いた過程が発表の端々から感じられました。今回の貴重な経験は、熱心にご指導やサポートをしてくださった指導教員の皆様のご尽力があってこそのものであり、ここに深く感謝申し上げます。

また、本発表会は有志学生13名による実行委員会が主体となって運営しました。10月から約3カ月間の準備を経て、2日間の日程を円滑に終了することができました。

今年度も学生後援会より多大なる助成金を賜り、優秀な発表・質疑を行った学生、および運営に携わった実行委員への副賞として活用いたしました。

学生後援会をはじめとする多くの方々からご支援いただいたことで、発表会を無事に運営することができました。開催に際して多大なるご支援をいただきました皆様に、実行委員会一同、心より御礼申し上げます。

保健学科卒業研究発表会

開催 2025年11月18日 (放射線技術科学専攻)、11月19日 (検査技術科学専攻)、2026年1月9日 (看護学専攻) 会場 オンライン (看護学専攻)、星陵オーデトリウム (放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻)

看護学専攻

医学部保健学科
看護学専攻 主任
医学系研究科 老年・在宅看護学分野
教授

尾崎 章子

看護学専攻では、2026年1月9日に卒業研究発表会を開催し、学生たちが4年間の学びの成果を発表しました。実習や日常生活の中で感じた素朴な疑問を出発点に、文献検討や調査・分析を重ね、看護学としての考察を深めてきました。オンライン形式での開催でしたが、限られた時間の中でも自分の言葉で研究成果を伝え、質疑応答に真摯に向き合う姿からは、専門職として着実に成長してきた様子が感じられる発表会となりました。基礎・母性・小児・成人・老年・精神・公衆衛生など多様な看護領域で、データに基づいて課題を捉え、臨床や地域に還元しようとする姿勢が伺えました。

今後モリサーチマインドを持った看護実践者として、学び続ける力を育てるよう支援してまいります。

放射線技術科学専攻

医学部保健学科
放射線技術科学専攻 主任
医学系研究科 放射線検査学分野・
災害放射線医学分野 教授

千田 浩一

2025年11月18日、星陵オーデトリウムにて放射線技術科学専攻の卒業研究発表会を開催しました。サイクロトロン工医学、医用物理学、画像情報学、医用画像工学、画像診断学、画像解析学、放射線検査学、放射線治療学の多岐にわたる分野から発表が行われ、基礎研究からAI・Radiomicsの応用、臨床に直結する検討まで幅広い内容が披露され、研究第一主義の東北大学ならではの卒業研究であると感じられるものでした。学生たちは成果を堂々と発表し、活発な質疑応答がなされたことも印象的でした。この経験は今後の学習や実務に確かな自信を与えるものとなるでしょう。

最後に、研究を支えてくださった実験協力者、実習施設、そして日頃から学生を支えてくださるご家族と学生後援会の皆様に深く感謝申し上げます。

検査技術科学専攻

医学部保健学科
検査技術科学専攻 主任
医学系研究科 分子内分科学分野
教授

菅原 明

検査技術科学専攻では、4年次の4月から11月まで卒業研究が行われますが、本年度は、38名の学生が8カ月間の研究成果を発表されました。当分野からは田丸鈴さんが「CACNA1Dを標的とした特発性アルドステロン症の新規創薬」という課題名で、中島実咲さんが「糖新生シグナルを標的とした新規糖尿病治療薬の開発」という課題名で、演題発表されました。学生が交代で座長も担当され、発表学生との間で学会さながらの質疑が行われたことから、大変良い経験になったと思います。本専攻の分野で研究された学生は16名でしたが、22名の学生は保健学科他専攻や医科学専攻のさまざまな分野で研究されており、そのため発表内容は大変広範囲で多岐にわたっておりました。本専攻では多くの学生が大学院に進学されますが、皆さんにとって大変勉強になる有意義な発表会だったと思います。



①Zoomを用いた看護学専攻の発表 ②放射線技術科学専攻の発表 ③検査技術科学専攻の発表

学生受賞情報

東日本研究医養成コンソーシアム 第15回「夏のリトリート」

開催 2025年8月19・20日

会場 順天堂大学 お茶の水キャンパス

医学教育推進センター 准教授 齋木 由利子

東日本研究医養成コンソーシアムは、医学生の研究マインドの滋養、他大学との医学生交流を目的とした学生主体の基礎医学研究発表会です。東北大学は第4回（2013年）から参加しています。現在の参加大学は、東北大学、北海道大学、新潟大学、金沢大学、群馬大学、山梨大学、東京大学、慶応義塾大学、順天堂大学、千葉大学、横浜市立大学の11大学です。今年は順天堂大学が主幹で、8月19・20日に順天堂大学のお茶の水キャンパスで開催され、東北大学からは5年生1人、4年生1人、3年生2人、2年生1人が参加しました。今年も東北大学の学生は大活躍で、5年生の幸田龍さんが口演で優秀賞、2年生の竹田陽さんがポスター発表で優秀賞を獲得しました。2日間、研究を志す医学生同志が出会い、切磋琢磨し、将来の夢や目標、不安や悩みを思う存分語り合いました。近年、日本の国際的な科学競争力の低下が懸念されるなか、このコンソーシアムが、将来の基礎医学を担う素晴らしい学生の育成に貢献していることを確信しています。



集合写真



口頭発表の様子

優秀賞 口頭発表

医学部医学科5年
幸田 龍

発表課題名

「深層学習を用いた単チャンネル脳波記録による全般起始発作と心因性非てんかん発作の鑑別」

昨年度はポスター発表で参加させていただきましたが、今年度は東北大学を代表して、口演発表をさせていただきました。伝統ある東北大学として、無事に賞をいただくことができ、大変光栄に存じます。

本研究は特許協力条約（PCT）の申請を行なっています。今後は前向きなデータ収集と検証を行い、将来的には臨床現場で使用されることを目指しています。

ポスター発表優秀賞

医学部医学科2年
竹田 陽

発表課題名

「加熱式タバコを含む喫煙と問題ギャンブルの関連」

近年、日本で急速に普及している加熱式タバコに関して、3万人規模の、インターネットアンケート調査のデータ解析を行いました。加熱式タバコの使用とギャンブル依存に高い相関関係があることが分かりました。疾病予防の根拠となるような着実な統計結果を積み重ね、人々の健康に貢献できるよう、今後も研究を続けていきたいです。

医学部学生奨学賞

開催 2026年1月15日

会場 医学部1号館大会議室



医学部学生奨学賞の受賞者と石井直人医学部長

	学年	氏名	研究主題目
最優秀賞	5	宮地 優和	「新規ミトコンドリアタンパク質翻訳計測法の開発」
優秀賞	6	林 瞳美	「慢性腎臓病における腎臓機能予後と関連する腸内細菌叢の網羅的探索」 "Comprehensive Exploration for Gut Microbiota Associated with Prognosis of Renal Function in Chronic Kidney Disease"
	5	幸田 龍	「深層学習を用いた単チャンネル脳波記録による全般起始発作と心因性非てんかん発作の鑑別」 "Single-channel EEG can differentiate generalized onset seizure and psychogenic non-epileptic seizures with deep-learning techniques"
奨学賞	5	草野 峻介	「肺腺癌の癌間連線維芽細胞におけるアスロリンの発現と機能」
	5	岩田 真歩	"Perceived indoor thermal environment and depressive symptoms among older adults in the Japan Gerontological Evaluation Study"
	5	信清 美杏	「左室補助人工心臓（LVAD）植込適応重症心不全患者における頭部CT画像解析を用いた脳の器質的異常の評価」
	3	都丸 英恵	"Paternal Influence on Imprinted Gene Expression during Brain Development"

合同慰霊祭・遺骨返還式

開催 2025年12月4日

会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

東北大学白菊会 常任理事 医学系研究科 器官解剖学分野 教授 大和田 祐二

平素より医学教育にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年12月4日、東北大学川内萩ホールにおいて、令和7年度東北大学・東北医科薬科大学合同慰霊祭・遺骨返還式が厳かに執り行われました。会場は静かな緊張感に包まれ、ご遺族をはじめ、教職員ならびに本年度解剖実習を経験した学生が、ご献体くださった方々への感謝と追悼の思いを胸に式に臨みました。

学生による謝辞や献花、ご遺族に対する一つ一つの所作には、自らのお体を医学教育と研究のために捧げてくださった方々の尊いご意思と、ご遺族の深いご厚情に対する感謝の思い、そして医師を志す者として命に向き合う責任の重さが込められていました。

医学・歯学を志す学生にとって、解剖実習は、医学知識を学ぶ場であると同時に、人の命と真摯に向き合う姿勢を育む、かけがえのない学びの機会です。学生たちはこの

経験を胸に刻み、将来、患者さんに寄り添う医師へと成長していく決意を新たにします。今後とも変わらぬご理解と温かいご支援を賜りましたら幸いです。



①合同慰霊祭、東北大学医学部教員代表献花（大和田 祐二教授）②遺骨返還式、東北大学医学部生代表者謝辞 ③合同慰霊祭、東北大学医学部生代表による献花 ④遺骨返還式、学生代表による献花

東医体結果

開催 2025年8月1日～17日、12月24日～2026年3月



第68回 東日本医科学生総合体育大会（東医体）で軟式庭球男子団体戦、陸上女子1500m、陸上競技女子総合が1位、柔道男子73kg級、卓球シングルス男子、陸上男子走り高跳び・ハンマー投げ、陸上女子4×100mリレー、サッカー部が2位に輝きました。詳細や冬季競技については右下QRコードより東医体公式HPをご覧ください。

東医体公式



① 医学部軟式庭球部 ② 医学部陸上部 ③ 医学部サッカー部



サークル紹介

臨床推論サークル Team COOL
学年や所属を問わず、
楽しく臨床推論しよう!

部員数：15人

活動場所：6号館グループ学習室、カンファレンスルームなど

活動日：主に金曜

私たち Team COOLは学年や臨床経験を問わず、実際の症例に基づいて臨床推論を行うサークルです。定期活動では、学生間で症例を提示し、最終診断を導く臨床推論会を行っています。また、東北大学病院総合地域医療教育支援部との共催で、外部の総合診療医の先生をお呼びし、先生方が実際に経験した症例をもとに臨床推論を行ったり、医療の実際について講義をいただいたりしています。さらに、今年度からは地域医療を専門とする先生からプライマリケアについて講義をしていただく機会も設けています。

活動を通して基礎医学から臨床医学まで多くの医学知識を学べ、先輩からのフォローもあり、学年や経験を問わず楽しく活動ができています。今後も応援のほどよろしくお願い致します。

医学部医学科5年 黒崎 円花、鳥海 武尊



サークル紹介

医学部ワンデルング部
山を歩き、未知ノ奥を知る

部員数：14人

活動場所：医学部サークル棟、東北の山々

活動日：不定期

1928年創立の医学部ワンデルング部は、ドイツ語の"Wanderung"(山野を歩き回ること)に由来する名を持つアウトドアサークルです。

雪のない季節は登山を、雪のある季節はスキーを中心に東北の山々で活動しています。コロナ禍で活動が途絶えかけましたが、2025年に復活し、山形の月山や鳥海山、宮城の栗駒山や葉菜山などへ足を運び、四季折々の東北の自然を楽しみました。仲間と自然を楽しみつつ技術や体力を少しずつ磨ける気軽な雰囲気、夏にはアルプス遠征にも挑戦したいと考えています。山や自然に興味ある方は新入生も途中入部も大歓迎です。

100周年を目指し、伝統を受け継ぎつつ新しい歴史を紡いでいくワンデルング部を、今後ともご支援いただければ幸いです。

医学部医学科3年 葉山 弘一



東北大学生協 星陵購買書籍店

書籍を5~10%引きで購入できます

星陵会館1階にある東北大学生協星陵購買書籍店は、学生のキャンパスライフを支える購買施設です。お弁当や日用品、白衣、パソコンまで幅広く揃い、教授厳選の教科書の販売も行われます。特に書籍コーナーが充実しており、その約9割を医学書が占めています。随時開催されるブックフェアでは、「画像診断フェア」、「研修医フェア」、「リハビリテーションフェア」など、約2カ月ごとにテーマが切り替わります。また、組合員は書籍を5~10%引きで購入できるのも心強いサービスです。



【営業時間】10:00~18:00(土曜は11:00~15:00)/日曜・祝日休



随時ブックフェアを開催

東北大学記念グッズも販売

HagiCo

便利でお得なアプリ



東北大生協に加入すると、組合員証を兼ねた大学生協アプリが利用できます。アプリでは東北大生協オリジナル電子マネー「HagiCo」が利用でき、「HagiCo」で支払うと、100円で1ポイント付与。ポイントはすぐに1ポイント1円として残高にチャージされ、次の会計時に自動的にポイントから決済されます。

"学食"星陵食堂より



頭脳うどんとは?

頭脳きつねうどん

学食の人気メニューの一つに「頭脳うどん」があります。食べると頭が良くなりそうなユニークな名前が印象的です。つるりとしたのど越しと、コシが特徴のこのうどんには、記憶力が向上すると言われるビタミンB1を多く含む「頭脳粉」が使われています。国産小麦100%で作られた粉で、東北大学生協が製粉会社に依頼して独自開発したものです。

【編集後記】

仙台では寒さの厳しい日々が続いておりますが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか? 医学部学生後援会会報ナナセターの第36号が完成しましたので、お届けさせていただきます。今回は、白衣式・ウェアセレモニーや、研究発表会に関する記事が多かったと思います。なお、東北大学の国際卓越研究大学採択1周年を記念したフォーラムが本年1月9日に川内萩ホールにて開催され、成果が着々と上がっていることが実感できました。今後とも、皆様のご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。



菅原 明

医学部学生後援会会報 ナナセター 編集委員長
医学系研究科 分子内分生学分野 教授

東北大学医学部学生後援会会報
ナナセター



第36号 2026年3月発行

本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

発行 東北大学医学部学生後援会

編集 東北大学医学部学生後援会会報 ナナセター編集委員

デザイン デザインマトカ

印刷 高橋写真製版

東北大学医学部学生後援会事務局

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

TEL:022-717-7870

med-koen@grp.tohoku.ac.jp

©東北大学医学部学生後援会

東北大学医学部学生後援会
ウェブサイト
http://www.koen.med.tohoku.ac.jp/

東北大学大学院医学系研究科・医学部
ウェブサイト
https://www.med.tohoku.ac.jp/

X
東北大学大学院医学系研究科
@tohoku_univ_med

Facebook
東北大学大学院医学系研究科・医学部
@Tohoku.University.School.of.Medicine

東北大学医療系メディア「ライフ」
ウェブサイト
https://www.life.med.tohoku.ac.jp/

